

市政記者クラブ 様

環境局環境企画部環境企画課
堀田、木綿 電話：972-2669
緑政土木局緑地部緑地事業課
中村、花井 電話：972-2484

名城公園グリーンインフラ啓発スポットが完成しました

名古屋市を代表する公園である名城公園では、令和8年度に開催されるアジア・アジアパラ競技大会や令和13年度の名城公園100周年に向けた再整備を進めています。

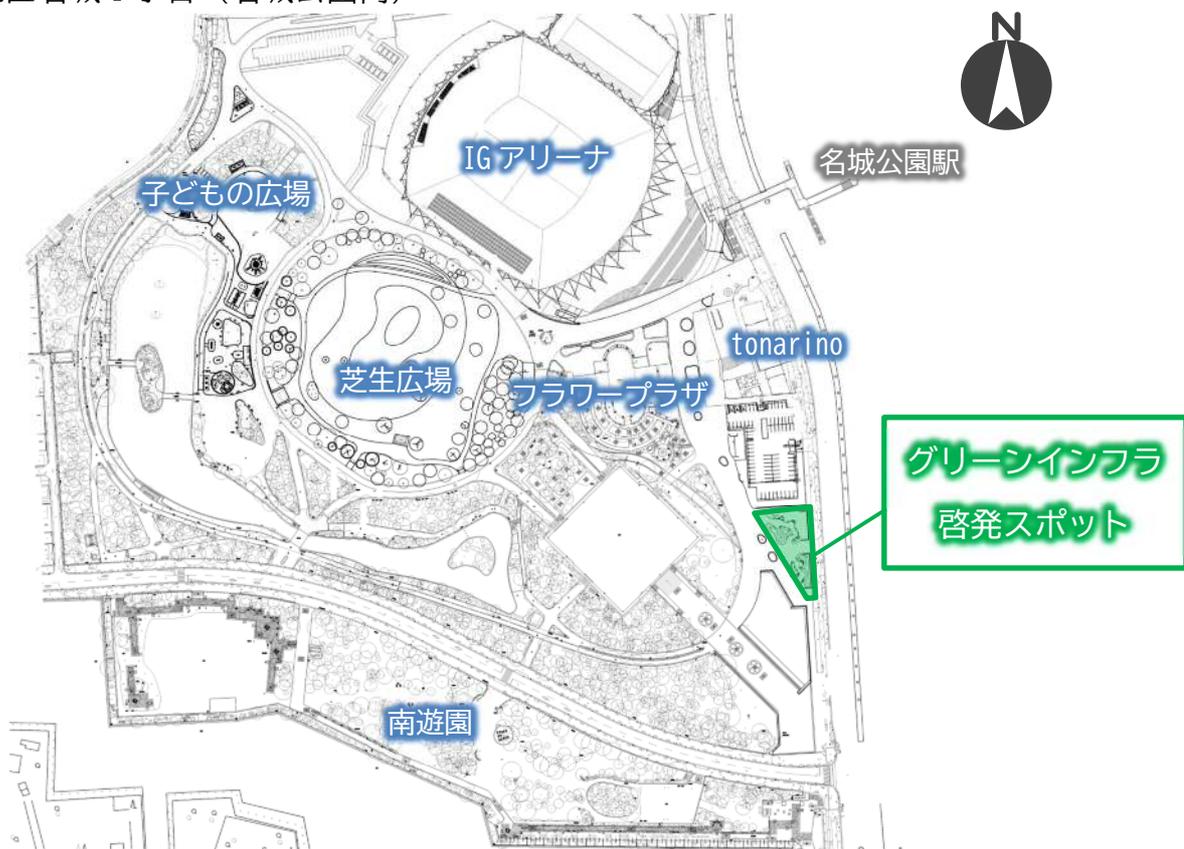
その中で、本市が進める「グリーンインフラまちづくり」の一環として、名城公園を訪れる方々に「グリーンインフラ^{*1}」について、広く知っていただくための啓発スポットを整備しましたのでお知らせします。

1 供用開始日

令和7年10月1日（水）

2 所在地

北区名城1丁目（名城公園内）



3 整備概要

- あめにわ雨庭^{※2}

雨水を一時的に貯留し、ゆっくりと地中に浸透させる雨庭を整備しました。

- 生物多様性に配慮した緑化^{※3}

在来種であるアカマツ、イロハモミジ、ヤマハギなどを選定しました。

- 保水性舗装^{※4}

路面温度の上昇を抑制する保水性の高い舗装を採用しました。



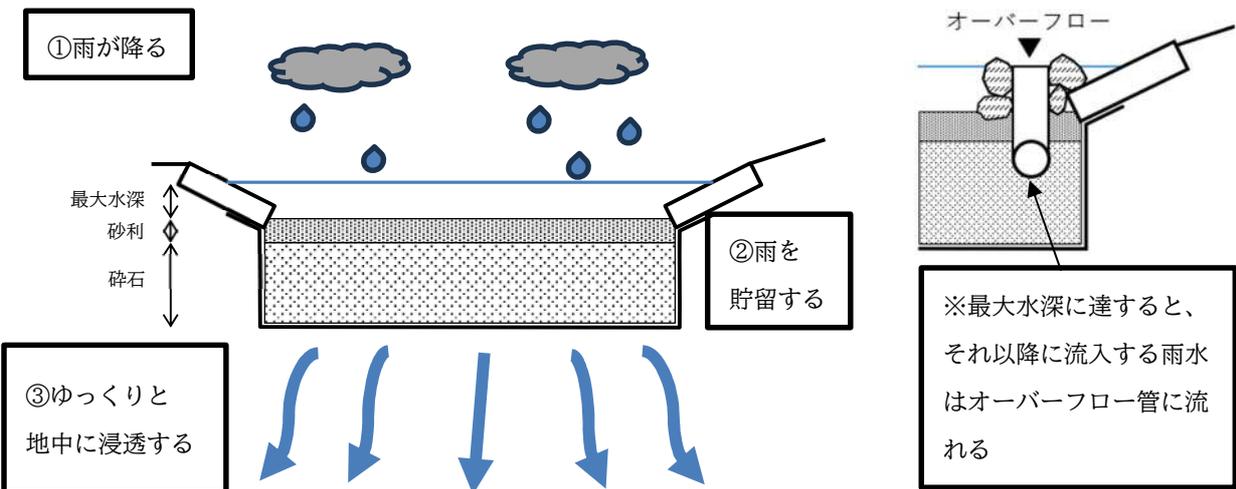
整備状況

※1 グリーンインフラ

自然環境が有する多様な機能（生きものの生息・生育の場の提供、雨水の貯留・浸透等による防災・減災、良好な景観形成、気温上昇の抑制など）を積極的に活用して、様々な効果を得ようとする取組。

※2 あめにわ 雨庭

雨庭とは、降った雨水を下水道にそのまま流さずに一時的に溜めて、地中に浸み込ませる構造を持つ植栽空間です。ヒートアイランド現象や都市型水害、河川等の水質悪化の抑制などを目的としたグリーンインフラの一つとして注目されています。



啓発スポットの雨庭の構造図と仕組み



市電の敷石を修景に再利用しています



啓発スポットの雨庭

※3 生物多様性に配慮した緑化

名城公園グリーンインフラ啓発スポットでは、名古屋に自生する草花や樹木を中心に植えています。様々な生きものがすみかや餌場として利用できる環境が整うことで、生態系のバランスが保たれます。こうした生物多様性に配慮した緑化は、地域の魅力向上にもつながります。



アカマツ



イロハモミジ



ヤマハギ



ベニシダ



ワレモコウ



ナガバジャノヒゲ



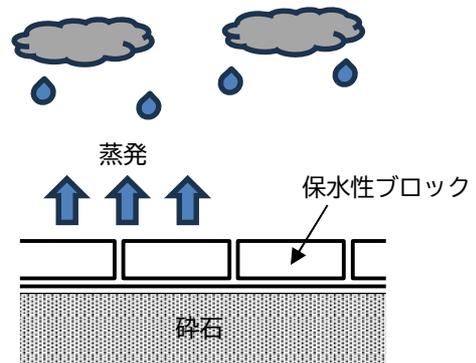
ツワブキ

※4 保水性舗装の構造

雨水などの水分を保持しやすい資材を使った舗装です。通常、舗装面は日射により温度が上昇しやすくなりますが、舗装内に蓄えられた水分が蒸発する際に周囲の熱を吸収することで、表面温度の上昇を抑える効果が期待できます。



啓発スポットの保水性舗装



啓発スポットの保水性舗装の構造図